

第1回きずなづくりトーク（沢地小学校区） 概要記録

平成24年5月25日
市民体育館

発言者	発言要旨
テーマ みんなでふれあい創出	
自治会長	町内で一番問題となっているのは、少子高齢化の進行。特に問題なのが、留守家族、町内会を抜きたい世帯、空き家の増加。町内の役をしてくれる人が必要だが、お願いしても断られてしまう。町内の行事によく出てくれる人10人ほどを集めて会合を行う予定。今の役員は70代だが、そろそろ世代交代の時期だと思う。
スポーツ推進委員	仕事、子育て等で行事が多いため町内の行事に出席できない。リタイヤ世代の方が自由に動けるので頼ってしまう。校区の行事も多い。力になりたいが、忙しくてできない。何か良い意見があれば聞きたい。
自主防災委員	千枚原はまとまっていると思う。お祭りや運動会に多くの方が出席してくれて良い町だと思う。
自治会長	昔は、田植えのシーズンになると、何も言わなくてもお互い助けあっていたが、今は農業者が減ってしまってそのようなふれあいはなくなってしまった。公民館は古いので、今年から10年計画で使いやすくしていく。公民館を情報発信地とし、人が集まる場所にしたい。例えば、ウォーキングをするから集まってほしいなどという情報をどんどん発信していきたい。
自治会長	リタイヤ世代が多くなった。今まではサラリーマンが多かったので、夏祭りくらいでしか集まらなかった。これからは何をしたらきずなを作れるか考えなければならない。
自治会長	今年からの町内会長なのであまり働いてないが、個人的に詩吟をやっている。老人会は58名おり活発で、6つのクラブがあり、ダンス、カラオケ、マージャンなどをやっている。無料で公民館を使用しているが、批判もある。活動を見て、高齢者のパワーはすごいと思った。自主防災委員長の池田さんはコミュニティ作りのベテランで、ソフトボール同好会、防災会委員長を10数年やるなど、地域を盛り上げてくれる。防災弱者をどうするかが問題だが、市の言うとおりでなく、町内でやれることをやろうと思う。
自治会長	町内会長は忙しいので、現役の方は絶対できない。運動会、祭りなどは高齢者が多い。行事に積極的に関わろうという気持ちが町民になくなってきているが、防災についてだけは関心が高いので、しっかりやりたい。
自主防災委員	防災の補助金は、物品購入時には出るが、修理、点検には出ない。防災訓練をやれと言われるが、道具が故障などで使えなくなっている。補助金を増やしてくれれば道具の問題で訓練ができなくなるということはなくなるのでは。
消防団長	町内会から依頼があれば、訓練の指導をする。千枚原、県営壱町田やまがみ団地などに分団員を派遣している。
自治会役員	老人会を解散し、新たにきずなの会を一人の方が立ち上げた。徳倉で高齢者を助ける制度があり、私も個人的に高齢者の取り組みをしているので関係者と意見交換をした。富士ビレッジは75歳以上は280人いるので、その対策を民生委員と協力してやっていきたい。一斉清掃のときに消防団に来ていただき、ホースの使い方、貯水槽のあけ方について指導してもらった。発電機などは月1回エンジンをかけると故障を減らせる。

発言者	発言要旨
自主防災委員	発電機は月に一回30分動かしてほしいとメーカーから指導を受けた。昔、10年間点検をせず駄目にしてしまった経験がある。高齢化が進んでおり、高齢者は自主防災委員をどんどん辞めてしまっている。このままでは運営が先細ってしまうので、頭を痛めている。
子ども会	沢地子ども会は小学生32世帯46人全員が入っている。個々にお問い合わせすると引き受けてくれるが、役員決めは毎年思うようにいかない。役員を減らして負担を減らしていきたい。
子ども会	光ヶ丘1丁目子ども会は少子化の影響で、小学生19世帯26名しか入っていない。入会は強制ではないので、役員をやりたいなど親の事情で入らない世帯もある。2ヶ月に1回古紙回収を行っている。子ども達は新聞を出してくれる方の手伝いをしている。子どもは地域の宝事業で12月にクリスマス会を開き、ケーキを食べたりゲームをしたりして遊んだ。夏休みに子ども達が高齢者と一緒に輪投げ大会をしている。地域の祭りや校区の運動会に参加している。
小学校長	防災の取り組みは、各校区でしっかりやっているので、その連合体としてどうしたらよいか話し合いたい。3.11大震災時は、子どもが学校にいたので、保護者に子どもを無事に引き渡せた。6強の地震でも大丈夫だと思う。しかし、下校時など子どもが学校にいないときについては心配なので、避難場所などについて相談していきたい。子どもがいることが地域の元気の源になっていると思う。生徒が地域とつながる場を作っていきたい。地域の方を講師として学校に招いたり、地域に子どもを送り出していきたい。子どもは跡継ぎなので、防災訓練などを体験させてほしい。学校にできることがあれば要望してほしい。
幼稚園PTA	沢地幼稚園は自然あふれる地区なので、子どもがのびのび生活できる。沢地川などまで遠足して子どもたちの体を鍛えている。沢地産業所とは豆まきを一緒にしたり、沢地産業所祭りに行ったり、アルミ缶回収に協力したりしている。PTAがバザーを公民館で開催し、宣伝ポスターを商店に張り出している。幼稚園の統廃合を進めるようだが、沢地幼稚園はぜひ残してほしい。子を持つ親は近くに幼稚園がある土地に移り住んでいく。北幼稚園が定員を増やしたので、沢地幼稚園の入園希望者が減ってしまった。私立より公立の幼稚園の方が親同士の交流が活発で、そのつながりは小学校へ引き継がれていく。光ヶ丘3丁目は人数が少ないので子ども会がなくなり、今は子どもの会ができた。歓送迎会、夏祭りへの参加などが主な活動。もっと他地域と交流できる活動を、各町内会と相談して考えていきたい。
女性懇話会	少子高齢化の影響が現実に出てきている。地域でやってほしいと言われるが、高齢者もいろいろな役員をやっている所以地域の行事をこなすのは大変。若い人は仕事があるのでご近所関係が作れない。子どもが減っているが、若い人が三島に住んで家庭を持つようにするために、子どもを育てやすいまちを作っていくべきである。自治会の役員などの世代交代を図りたい。まずは若い人に役員会などに顔を出してもらいたい。
スポーツ推進委員	少子高齢化が問題になっており、一部で運動会をやめればという意見もある。3年前には光ヶ丘県営住宅が子どもがいなくなってしまったので、運動会から抜けてしまい、今は6つの町内会でやっている。野菜取り競争、パン食い競争などをやっている。もっと宣伝していきたい。
自主防災委員	沢地自主防災では防災訓練、消化器の詰め替えを行っている。発電機の点検は担当項目に入っていないので、検討してみる。高齢者対策について、一軒家で一人暮らしの高齢者はいないが、借家については把握できていない。救助の際に知っているかいないかで大きく違うので、個人情報の問題もあるが把握しておきたい。
保健委員	よくわからないので皆さんの話を聞いておきたい。
民生委員児童委員	民生委員として関わった高齢者はみんな元気だったので安心している。幼稚園児、小学生の人数が減っていることの方が心配である。

発言者	発言要旨
環境美化推進委員	光ヶ丘3丁目に転居して来たが、私が入った組は現役労働者は17世帯中2,3世帯。主人も働いているので、今回の市民会議に出られず、不景気なのでほとんど休日がない。高齢者の力になりたいが、親の介護、孫の面倒などで忙しい。優先順位をつけて活動を行わないと状況を打開できない。少子化については、大変な若者たちを見てると子どもを生んでくれなんて頼めない。
老人クラブ会長	老人会では公民館を多く使用しているので、恩返しとして草取りを行っている。防災訓練を毎年9月に行っているが、倒木や急坂があるので高齢者が歩いて行けるか心配している。子ども会と輪投げをやっている。近所とのふれあいが昔に比べて減っている。井戸端会議や回覧板の手渡しが無くなってしまった。ふれあいの機会を作っていきたい。
体育復興会	運動会参加を促すために、子ども会と役員会を行った。子どもを出席させれば親も来ると思う。PRは、回覧だけでは効果がないので、班会議で周知してもらおうと呼びかけた。無理やりでも参加してもらおうことが大切。ソフトテニスでは、ネットを張ったりなどの準備を高齢者がやっているが、なぜ？ 嫌々参加していた人も、来たら楽しくやっている。無理やりでも参加してもらったほうが良いと思う。